

広島県歯科医師連盟通信 VOL.7

次期参議院比例代表選挙候補者擁立に関する日歯連盟の動向

日本歯科医師連盟は9月18日に第107回評議員会を開催し、協議の中で「野党になった自民党から職域代表候補者を擁立しない」という次期参議院比例代表選挙に関する緊急動議が提出され、無記名投票の結果、賛成50票、反対26票、無効1票で、次期参議院比例代表選挙に、たかみね明彦氏を自民党公認候補として擁立しないことに決定した。

しかしながら、5月の評議員会で決した「第22回参議院選挙に候補者を擁立し選挙を行う」という議決は未だ生きており、9月25日に行われた都道府県歯連盟代表者・理事長会議に於いては、日歯連盟執行部からの第22回参議院選挙への今後の対応についての協議題について活発な議論が行われた。

日歯連盟は、10月23日の理事会に於いて方針を決定し、評議員会に諮る考えであり、その動向が注視される。

※候補者擁立に向けた日歯連盟の現在までの動向をホームページ(<http://hpdpf.jp/>)に掲載しております。

併せてご覧下さい。